



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 丸文株式会社

コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 象司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 渋谷 敏弘

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	55,796	12.3	273	—	267	—	104	—
25年3月期第1四半期	49,687	24.6	△4	—	△96	—	△327	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,114百万円 (578.9%) 25年3月期第1四半期 164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.01	—
25年3月期第1四半期	△12.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	107,718	—	38,297	—	—	31.8
25年3月期	104,743	—	37,547	—	—	32.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 34,214百万円 25年3月期 33,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	9.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	99,000	△3.9	500	△3.4	500	32.5	250	—	9.57
通期	225,500	2.4	3,350	12.0	3,200	28.0	1,550	80.7	59.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	28,051,200 株	25年3月期	28,051,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,915,191 株	25年3月期	1,915,167 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	26,136,018 株	25年3月期1Q	26,136,353 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国の経済は、欧州債務危機の長期化や中国の成長鈍化など海外景気の下振れリスクが懸念されるものの、政府の経済対策や金融政策の効果が現れ、輸出や生産に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復への期待が高まりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、デジタルカメラが減少し、TV、ゲーム機も低迷が続く一方で、スマートフォンやタブレットPCの需要拡大は継続し、車載向けや産業機器向けも回復に転じました。半導体製造装置は、設備投資に回復の動きが出てきたことにより底打ちし、また半導体・電子部品市場では、DRAMの価格が需要増加により上昇、液晶パネルも安定して推移しました。

こうした状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比12.3%増の55,796百万円となりました。営業利益は、273百万円(前年同期は4百万円の営業損失)、経常利益は、267百万円(前年同期は96百万円の経常損失)となりました。四半期純利益は、104百万円(前年同期は327百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業は、デジタルカメラやプロジェクター向けの半導体・電子部品が減少した一方で、通信モジュール向け半導体が好調に推移し、PC向けの半導体も売上が増加しました。その結果、売上高は前年同期比13.5%増の50,550百万円、セグメント利益は前年同期比215.7%増の579百万円となりました。

(システム事業)

システム事業は、医用機器の画像診断装置が減少した一方で、従来持分法適用会社であった関係会社を当期から子会社化したことなどにより、試験計測機器の売上が増加し、またレーザ機器も光通信用コンポーネントが好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比1.8%増の5,246百万円となりましたが、セグメント損益は、売上総利益率の低下、販売費及び一般管理費の増加により302百万円の損失(前年同期は185百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は96,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,585百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が2,799百万円、受取手形及び売掛金が2,008百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が5,082百万円、有価証券が2,000百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は11,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ389百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が149百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、107,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,975百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は51,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,086百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が826百万円減少した一方で、短期借入金が3,018百万円増加したことによるものであります。固定負債は18,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が63百万円、退職給付引当金が41百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債の合計は、69,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,225百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は38,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ750百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が471百万円、少数株主持分が302百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.8%(前連結会計年度末は32.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,440	22,522
受取手形及び売掛金	48,299	46,291
有価証券	—	2,000
商品及び製品	25,378	22,579
仕掛品	47	119
未収還付法人税等	—	38
繰延税金資産	1,567	1,523
その他	1,097	1,338
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	93,799	96,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,062	4,121
減価償却累計額	△2,666	△2,736
建物及び構築物（純額）	1,396	1,385
機械装置及び運搬具	26	27
減価償却累計額	△23	△23
機械装置及び運搬具（純額）	3	3
工具、器具及び備品	2,048	2,048
減価償却累計額	△1,643	△1,663
工具、器具及び備品（純額）	405	384
土地	2,466	2,510
リース資産	41	63
減価償却累計額	△11	△14
リース資産（純額）	29	49
建設仮勘定	0	13
有形固定資産合計	4,302	4,346
無形固定資産		
のれん	4	4
その他	401	389
無形固定資産合計	406	393
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744	1,894
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	1,617	1,668
投資不動産	3,059	3,059
減価償却累計額	△2,048	△2,059
投資不動産（純額）	1,010	999
その他	1,857	2,025
投資その他の資産合計	6,234	6,593
固定資産合計	10,943	11,333
資産合計	104,743	107,718

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,523	32,697
短期借入金	11,687	14,705
1年内返済予定の長期借入金	34	34
1年内償還予定の社債	21	21
未払法人税等	109	—
賞与引当金	808	567
資産除去債務	12	12
その他	2,844	3,090
流動負債合計	49,042	51,129
固定負債		
長期借入金	16,037	16,101
退職給付引当金	1,461	1,502
役員退職慰労引当金	244	260
資産除去債務	111	111
その他	298	315
固定負債合計	18,153	18,291
負債合計	67,195	69,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	24,097	23,966
自己株式	△1,630	△1,630
株主資本合計	35,035	34,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	306
繰延ヘッジ損益	△656	△642
為替換算調整勘定	△826	△355
その他の包括利益累計額合計	△1,269	△690
少数株主持分	3,781	4,083
純資産合計	37,547	38,297
負債純資産合計	104,743	107,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	49,687	55,796
売上原価	45,923	51,888
売上総利益	3,763	3,908
販売費及び一般管理費	3,768	3,635
営業利益又は営業損失(△)	△4	273
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	12	13
持分法による投資利益	26	44
投資不動産賃貸料	44	39
雑収入	80	80
営業外収益合計	166	180
営業外費用		
支払利息	103	72
為替差損	67	49
雑損失	88	65
営業外費用合計	258	187
経常利益又は経常損失(△)	△96	267
特別利益		
投資不動産売却益	2	—
負ののれん発生益	—	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除売却損	2	3
投資有価証券評価損	21	—
和解金	283	—
段階取得に係る差損	—	17
特別損失合計	306	20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△400	247
法人税等	△171	47
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△228	200
少数株主利益	98	95
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△327	104

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△228	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	90
繰延ヘッジ損益	25	13
為替換算調整勘定	437	808
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	393	914
四半期包括利益	164	1,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107	683
少数株主に係る四半期包括利益	272	431

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△400	247
減価償却費	123	100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△176	△255
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△32	29
受取利息及び受取配当金	△15	△16
支払利息	103	72
為替差損益(△は益)	13	△221
持分法による投資損益(△は益)	△26	△44
投資不動産売却損益(△は益)	△2	—
投資不動産賃貸料	△44	△39
投資有価証券評価損益(△は益)	21	—
固定資産除売却損益(△は益)	2	3
和解金	283	—
負ののれん発生益	—	△1
段階取得に係る差損益(△は益)	—	17
売上債権の増減額(△は増加)	12,937	3,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	△976	2,968
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,683	△1,898
その他	912	40
小計	5,049	4,184
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△84	△74
法人税等の支払額	△331	△241
法人税等の還付額	10	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,659	3,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△110
定期預金の払戻による収入	200	103
有形固定資産の取得による支出	△71	△45
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△17	△37
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資不動産の売却による収入	10	—
投資不動産の賃貸による収入	44	40
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	46
その他	△71	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	88	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,844	3,008
長期借入金の返済による支出	△8	△19
配当金の支払額	△163	△211
少数株主への配当金の支払額	△81	△129
その他	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,099	2,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	474
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,239	6,926
現金及び現金同等物の期首残高	17,923	17,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,683	24,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	44,536	5,151	49,687	49,687	—	49,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	7	7	7	△7	—
計	44,536	5,159	49,695	49,695	△7	49,687
セグメント利益又は損失(△)	183	△185	△2	△2	△2	△4

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	50,550	5,246	55,796	55,796	—	55,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	7	7	7	△7	—
計	50,550	5,253	55,804	55,804	△7	55,796
セグメント利益又は損失(△)	579	△302	276	276	△2	273

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。